

## 平成30年度 泉南地域水防災連絡協議会 議事概要

- 日時 : 平成30年5月25日(金) 14:00~16:00
- 場所 : 泉南府民センター 1階 多目的ホール
- 構成機関 : 協議会構成員
- 議事
  1. 【報告事項】協議会(平成29年12月書面開催)の結果について
  2. 【議案事項】規約の改正について
  3. 【報告事項】平成30年度水防計画の改正点について
  4. 【報告事項】泉南地域の河川砂防施設の整備・維持管理等について
  5. 【報告事項】行政WG(平成30年3月及び4月)の結果について
  6. 【議案事項】泉南地域の防災・減災に係る取組方針(案)について
  7. 【報告・意見交換】防災・減災に係る取組事例の紹介・意見交換
  8. 【話題提供】段階的に発表する防災情報の活用(大阪管区气象台)
- 開催状況



- 協議会結果
  - 議事1 事務局より説明し、構成員に確認
  - 議事2 事務局より内容を説明し、構成員により承認
  - 議事3、4、5 事務局より説明し、構成員に確認
  - 議事6 事務局より内容を説明し、構成員により承認
  - 議事7 以下の通り

### ■ 取組紹介及び意見交換の概要

[防災・減災に係る取組事例の紹介]

- 事務局より平成29年台風21号による被害について説明
- 貝塚市よりコミュニティタイムライン策定取り組み報告について説明
- 泉佐野市より水防災の取組について説明

## [意見交換の概要]

### (事例紹介)

- 避難所に関し、熊本地震の益城町の避難所でトイレが使えなくなった原因は、下水道の被災のためではなく、排水設備と下水道をつなぐ管が破損していたことによる。

### (構成員からの意見)

- 平成29年台風21号による岸和田市大沢の災害に関して、当該箇所の通行規制の基準を強化したほうが良いのではないか。
- ライフラインの管理者として、災害発災前からどんな対応ができるか今後検討したい。
- 貝塚市のコミュニティタイムラインの取組を聞き、例えばため池の水量を大雨の前に下げておくなど様々な分野でタイムラインとして情報共有すれば災害を未然に防ぐことができると感じた。
- 河川のみお筋が固定されると大雨の時に河床低下を引き起こし、占用施設が被災を受けるため、そうならないよう優先順位をつけて堆積土砂の撤去や河床整正を検討して欲しい。
- 行政は情報を出すだけでなく、避難行動に結びつけてもらうためにどうすればよいかを、協議会の場で意見を聞きながら対応したい。
- 平成29年台風21号の際は警察の駐在員が高齢者の避難の手伝いを行ったが、中々避難してもらえなかった。また、避難時には家が留守になり防犯上の問題もある。

### (質疑応答)

- タイムラインは時系列的にどこまで対象にすればよいのか。  
⇒昨年度から検討している寝屋川流域のタイムラインでは、台風の発生からスタートして、浸水が発生した場合はその処理を含めた事後も時系列として対象にしている。